

柏原地区集会施設「ほたる館」 盛大に落成・祝賀会を開催

柏原地区集会施設「ほたる館」の落成・祝賀会が4月24日（土）関係者約100人が参加し、盛大に行われました。柏原区公民館は、昭和44年に建築され、約35年が経過し老朽化がすすみ今回改築されたものです。



柏原地区集会施設「ほたる館」

われ、場所を柏原小学校の校庭に移し、秋津島舞い（アケスメモ）が10年ぶりに復活し披露されました。その後、柏原小学校体育館に移り、落成式、祝賀会が行われました。式では、水流域二柏原区長が「この施設は、柏原地区の活性化に寄与するものです。コミュニティ活動の拠点として大いに利用していきたい。」とあいさつをされました。その後、工事経過報告感謝状贈呈が行われ、落成を祝いました。

祝賀会では、アトラクションとして川口の虚無僧踊り、市場の疱瘡踊り、小路下手の俵踊りが披露され花を添えました。

ほたる館は、木造平屋建てで広さが292・83平米、多目的ホール、小会議室、調理研修室などがあり、県の活力あるむらづくり支援事業補助金185万6千400円、過疎債3770万円などを充当し、総額5673万円で建設されています。

川薩地区畜産共進会

最優秀賞に8頭が入賞

平成16年度川薩地区春季畜産共進会が5月12日（水）宮之城町の薩摩中央家畜市場で開催され、本町からも各部門に9頭出品しました。

- | | |
|--|--|
| ◇肉用牛二部
最優秀賞 渡秀文
優秀賞 四位芳彦
山口修治 | ◇肉用牛三部
最優秀賞 栗野十光
優秀賞 大山昭子
有村學
福留美明 |
|--|--|

審査員による厳しい審査が行われ、最優秀賞に8頭が入賞しました。結果は次のとおりです。
（敬称略）

◇肉用牛一部
最優秀賞 小山文章
上之園光子



厳しい審査が行われました

市町村合併住民説明会 合併協定項目について説明

市町村合併住民説明会が、4月26日（月）～5月21日（金）まで町内各集落を18ヶ所（約400人参加）に分けて実施されました。これは15年4月薩摩東部地区合併協議会（宮之城町・鶴田町・薩摩町）が設置され、毎月1回の協議会が開催されてきましたが16年2月の第11回協議会で、46協定項目の確認が終わったため、この協定項目や新町建設計画を町民の皆さんに具体的に説明するため、開催されました。



住民説明会の様子

「本町はこれまで合併せずにきたが、今回合併という歴史的局面を迎える中で、数年後後悔しないよう行政も努力して欲しい。」、「今までの説明では、負担は軽く、サービスは高くという説明だったが、そうっていないのではないか。」、「町の規模が大きくなると細かいところに手がとどかなくなる可能性がある。サービスが低下しないようにして欲しい。」など意見が出されました。

鶴田ごぼう部会

1億円突破記念大会を開催

さつま農協鶴田ごぼう部会の一億円突破記念大会が、5月17日（月）保健センターで開催され、関係者約60人が参加しました。

大会では、大園米満ごぼう部会長が「長年の目標であった出荷額1億円を突破できました。これは、生産者の皆さんの努力の賜物であると思います。これを機にさらに生産拡大が進むこ

とを期待します。」とあいさつをしました。その後、経過報告表彰などがありました。

また、産地への提言ということで鹿児島県経済連、青果市場などからあいさつがありました。福岡大同青果からは「新ごぼうは宮崎県でも栽培されているが、JAさつまのものだけを扱うようにしている。市場でも新ごぼうは人気が高い商品です。これから鮮度がいいもの、風味がいいものをたくさん出荷して欲しい。」と話されました。

最後に、大会決議を行いこれからの更なる新ごぼう推進を誓いました。

平成16年は、生産面積16畝、販売量185ト、販売額1億2000万円を目標に栽培が進められます。



新たな目標に向けて大会が開かれました